



令和7年度特別展

教え子たちが語る 新美南吉

2025.7/12(土) > 10/13(祝)

- 開館時間 9時30分～17時30分
- 休館日 7/14(月)・22(火)・28(月)、8/4(月)・12(火)・18(月)・25(月)、9/1(月)・8(月)・9(火)・16(火)・22(月)、10/6(月)
- 観覧料 常設展観覧料220円(中学生以下無料)で特別展もご覧いただけます。

特別展 & 関連企画



ミュージアムトーク

学芸員が企画展示会場で解説をします。

- 時 7/13(日)・26(土)、8/17(日)・24(日)、9/6(土)・21(日)、10/4(土) 11時～
- 料 無料(高校生以上は要観覧料)

安城バス見学会

安城市内の新美南吉ゆかりの地を解説付でめぐります。

- 時 10/12(日) 9時～15時30分頃
- 場 安城駅周辺、南吉の下宿先など(半田市役所職員駐車場集合)
- 料 無料
- 定 20名(先着順)
- 持 昼食(弁当、飲み物)※南吉の下宿先で食べます。
- 申 申込フォーム、または電話 9/6(土)9時30分から

新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889
【交通】名鉄河和線/半田口駅より西へ徒歩20分 知多半島道路/半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」/知多半田駅(雁宿ホール前)のバス停より15分

令和7年度特別展

教え子たちが語る 新美南吉

▶展示構成

はじめに

第1章 新美正八先生との出会い

第2章 先生の厳しさ、優しさ、ユーモア

第3章 けさ大きい雲が来た 花束を満載して

おわりに

中学時代から文学を志した新美南吉は、東京外国語学校に進学し英文学を学ぶかたわら、文学修行に励みました。しかし在学中から体調を崩し、一時就職するも東京生活を諦めて帰郷しています。そして苦勞の末、今から87年前の昭和13年4月、24歳で安城高等女学校の教師になりました。

新人教師の南吉は、当時12、13歳の新入生たち(19回生)を受け持ちました。4年間、担任として共に過ごし、昭和17年3月に卒業する彼女らを送り出しました。ほかに安城高女の16回生から24回生と、それぞれ授業などで接点を持っています。

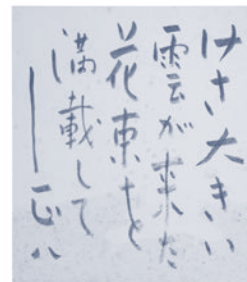
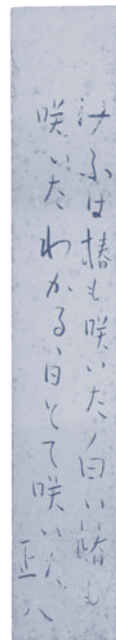
19回生の多くは今年100歳、他の学年の生徒たちも100歳前後という年齢になりました。南吉没後から現在まで、彼女らは師の顕彰活動を行い、南吉を語り、作品の魅力を伝えてきました。南吉から何を感じ、語ってきたのか、教え子たちの声をご紹介します。

また本展では、いくつかのモノクロ写真をなるべく自然な色味になるようにカラー化し、展示しています。教え子たちが語った思い出とともに、お楽しみください。



南吉着用の背広

安城高女の制服(復刻、安城市所蔵)



南吉が教え子のために
揮毫した短冊・色紙
(右:安城市歴史博物館所蔵)



南吉の評言が記入された
教え子の日記

期間中イベント

講演会 新美君だけは出してやりたいね ～南吉の先輩詩人、巽聖歌と与田準～



時 8/10(日) 13時30分～15時30分 ※開場13時
場 瀧上工業雁宿ホール 講堂(半田市雁宿町1丁目22番地の1)
講 北村澄江(日野市郷土資料館 元職員) 吉開忠文(与田準一記念館 前館長)
料 入場無料
定 150名(予約者優先)
申 申込フォーム、または電話で新美南吉記念館へ 7/12(土)9時30分から

入館無料 新美南吉生誕祭

7/26(土) 正八ちゃんの宵祭り
7/27(日) 人形劇
歌とお話の会ほか
7/30(水) 「南吉さんの日」
(誕生日)式典

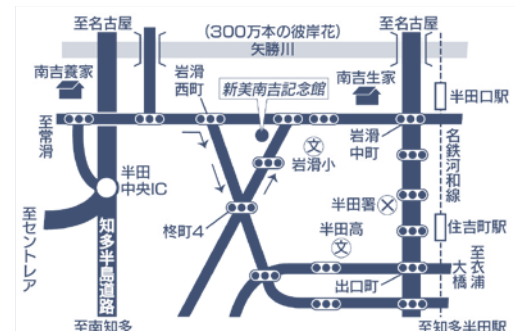
9/23(祝)～10/5(日) ごんの秋まつり

・矢勝川堤に咲く300万本の彼岸花と各種行事
・実際の開花とイベント期間がずれることもあります
・イベントや駐車場規制についてはホームページをご覧ください



新美南吉記念館 TEL 0569-26-4888

公式HP・SNSもご覧ください。 [新美南吉記念館](#)



【交通】名鉄河和線/半田駅より西へ徒歩20分
知多半島道路/半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」/知多半田駅
(雁宿ホール前)のバス停より15分